

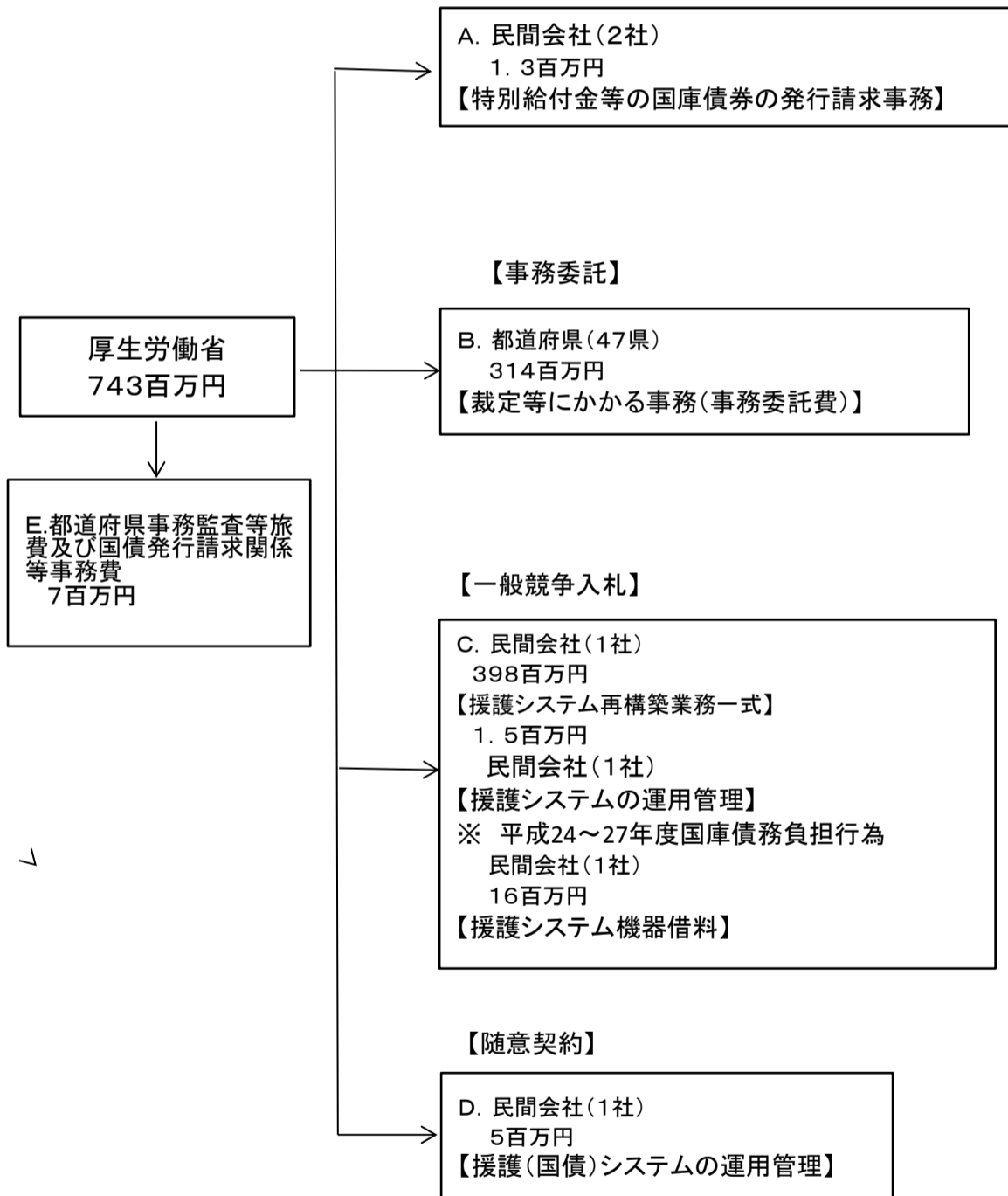
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	戦没者等の遺族に対する特別給付金等の支給事務		担当部局庁	社会・援護局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和38年		担当課室	援護課		平野 真哉	
会計区分	一般会計		政策・施策名	VII-5-1 戦傷病者、戦没者遺族等に対して、援護年金の支給、療養の給付等を行う			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	戦没者の妻に対する特別給付金支給法(昭和38年法律第61号) 戦傷病者等の妻に対する特別給付金支給法(昭和40年法律第100号) 戦没者の父母等に対する特別給付金支給法(昭和41年法律第109号) 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法(昭和42年法律第57号)		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各種特別給付金支給法及び特別弔慰金支給法に基づき、戦没者等の遺族等に対して国として特別の慰藉、弔慰のための支給を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 各種特別給付金支給法及び特別弔慰金等の国庫債券の発行請求事務 裁定に係る事務等(都道府県に委託)(補助率:10/10) 援護(国債)システムの運用・管理 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	384	435	350	429	413
		補正予算					
		繰越し等			398		
		計	384	435	748	429	413
	執行額	372	418	743			
執行率(%)	96.9%	96.1%	99.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	各種特別給付金及び特別弔慰金について、全受理件数のうち、請求を受理した後6ヶ月以内に裁定を行った件数の割合	成果実績 達成度	%	95.8	99.0	89.8	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	各年度末の国債発行請求件数	活動実績 (当初見込み)	件	10,652	8,137	4,636	—
単位当たりコスト	678千円(千円/件数)		算出根拠	125,521千円 / 185件 (非常勤職員賃金及び都道府県事務委託費) / (受理後6ヶ月以内裁定件数)			
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	1.0	1.0				
	遺族年金等支給業務庁費	433	85	前年度限りの経費(援護システム再構築業務一式)の減			
	電子計算機等借料	14	14				
	遺族及留守家族等援護事務委託費	378	313	戦没者等の妻及び戦没者の父母等に対する特別給付金(改善分)の減			
	計	826	413				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国として慰藉や弔慰を表す事業であり、国民のニーズもあり、優先度も高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	各種特別給付金及び特別弔慰金の請求受付や裁定等については、法定受託事務として都道府県に委任しており、それらを取りまとめ、国債の発行請求業務については国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	—	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	一部少額のため予算決算及び会計令に基づき随意契約しているものや、一般競争入札を実施し、国庫債務負担行為により複数年度にわたる契約をしているものがある。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	単位あたりコストの削減のため研修会等を行い処理期間の短縮化を促している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業は各種特別給付金及び特別弔慰金支給法に基づく特別給付金等の支給に係る経費であり、必要最低限のものとなっている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は概ね実施できている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検 結果	各種特別給付金及び特別弔慰金の支給については、戦傷病者や戦没者の身近な近親者に対し、国として特別の慰謝又は弔慰を表すために支給するものであり、引き続き必要な経費を精査し、各種特別給付金及び特別弔慰金の支給を実施していくこととする。 なお、請求から裁定までの期間についても概ね目標を達成できたが、引き続き早期の裁定に努めていくこととする。				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状 通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き必要な予算措置に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状 通り	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	454	平成23年	412	平成24年	358

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 大和綜合印刷(株)			E. (有限)タケマエ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	特別給付金請求書等の印刷	1.1	消耗品費	消耗品の購入	0.3
計		1.1	計		0.3
B. 広島県			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務委託費	賃金、消耗品費等	13			
計		13	計		0
C. 三菱電機(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	援護システム再構築業務一式	415			
計		415	計		0
D. ソフトバンクテレコム(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	援護システム通信回線使用料	5			
計		5	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和綜合印刷(株)	戦没者の妻に対する特別給付金請求書等の印刷	1.1	随意契約	
2	独立行政法人国立印刷局	戦没者等の妻に対する特別給付金法の一部を改正する法律案の印刷	0.2	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島県	各種特別給付金及び特別弔慰金の裁定等に係る事務費	13		
2	兵庫県	各種特別給付金及び特別弔慰金の裁定等に係る事務費	12		
3	京都府	各種特別給付金及び特別弔慰金の裁定等に係る事務費	12		
4	神奈川県	各種特別給付金及び特別弔慰金の裁定等に係る事務費	12		
5	北海道	各種特別給付金及び特別弔慰金の裁定等に係る事務費	12		
6	大阪府	各種特別給付金及び特別弔慰金の裁定等に係る事務費	11		
7	長野県	各種特別給付金及び特別弔慰金の裁定等に係る事務費	11		
8	千葉県	各種特別給付金及び特別弔慰金の裁定等に係る事務費	10		
9	愛知県	各種特別給付金及び特別弔慰金の裁定等に係る事務費	10		
10	埼玉県	各種特別給付金及び特別弔慰金の裁定等に係る事務費	9		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機(株)	援護システム再構築業務一式	398.0	1	99.8
		援護システム機器借料	15.8		
		援護システム運用支援業務	1.5	1	91.2
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ソフトバンクテレコム(株)	援護システム通信回線使用料	5		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有限)タケマエ	消耗品費	0.3	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					